

第68期

報 告 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

名糖産業株式会社

目 次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	5
連結財務諸表	
連結貸借対照表	6
連結損益計算書	7
連結株主資本等変動計算書	8
連結キャッシュ・フロー計算書	8
個別業績の推移	9
個別財務諸表	
個別財務諸表（要約）	10
個別株主資本等変動計算書	11
会社の概要	12
株式の状況	12
役員	12

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、当社第68期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

<企業集団の事業の経過およびその成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界経済が各国の実施した景気刺激策の効果により深刻な危機から緩やかな回復に向かうなか、アジア向けの輸出が増加するなど新興国経済にも牽引されて、持ち直しの動きがみられるようになりました。しかし、一方では、雇用情勢は相変わらず厳しさが続くとともに、消費マインドは低調に推移し、さらに、円高やデフレが企業収益を圧迫するなど、景気下振れへの懸念材料も依然として残りました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましても、安全・安心で高品質な商品の提供への取り組みが強く求められる一方で、消費者の節約志向が一段と強まり店頭の販売価格が下落するなど、厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保や品質の向上に引き続き注力するとともに、お客様の視点に立った魅力ある商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を進めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、厳しい経営環境のもと、前連結会計年度に比べ4.6%減の22,605百万円となりました。営業利益につきましては、高騰していた原材料価格が落ち着きをみせたこと、加えて、生産性の改善やコスト削減活動などにより、前連結会計年度に比べ83.6%増の1,294百万円となりました。また、経常利益は前連結会計年度に比べ53.2%増の1,777百万円となり、当期純利益につきましては、前連結会計年度に比べ51.5%増の1,226百万円となりました。

<企業集団の事業分野別動向>

食品事業

当連結会計年度におきましては、主力の菓子部門は積極的に営業活動を展開して拡売に努めましたものの、低価格化傾向が一段と強まる市場のもと販売競争が激化し、減収となりました。チョコレート類は、「デザートチョコレート」など各種の新商品を投入したものの、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ベストアソートチョコレート」などのファミリータイプの商品が売上を減少させたことが響き、減収となりました。このような状

況下ではありましたが、「ぶくぶくたい」をはじめ各種のエアインチョコレートは、新商品を投入して拡売に努めた結果、売上を伸ばしました。キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上が落ち込み、減収となりました。

粉末飲料部門は、ラインアップされた基幹商品を中心として拡売に取り組みましたが、消費者の買い控えが進むなか主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などの売上が減少して、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、夏場の天候不順や受託商品の売上の落ち込みの影響を受けて、減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、主力のパウムクーヘン類は積極的な商品提案や販売活動により売上が増加しましたが、ゼリー類などの売上が減少して、減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前連結会計年度に比べ5.2%減の19,921百万円となりましたが、カカオ豆や砂糖など一部原料については高値水準で推移したものの、原材料価格は全体的には落ち着きを取り戻しつつあり、加えて、生産効率の向上やコスト削減などの対策を講じた結果、営業利益は前連結会計年度に比べおよそ2倍の1,640百万円となりました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としているチーズ用凝乳酵素「レンネット」や脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上が、急激に進んだ円高や世界的な経済環境の悪化による需要の低迷という厳しい環境下でありましたが、海外市場のシェア拡大に向けての精力的な営業活動の展開により増収となりました。特に「レンネット」の第2世代品「MRS」は、積極的な販売促進活動が功を奏し売上を大きく伸ばしました。

薬品部門につきましては、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾピスト』の原薬である「デキストラン・マグネタイト」が取引先の在庫調整の影響で売上が無かったことなどが影響し、減収となりました。そのなかで、医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」およびその誘導体、ならびに飼料添加物「ヘルシーフレンド」は、商品提案による顧客の開拓に努めた結果、増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前連結会計年度に比べ1.2%増の2,273百万円となりましたが、円高に加え高利益商品の売上減少が影響し、営業利益は前連結会計年度に比べ64.3%減の123百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、当社八王子工場内の「レンネット」の第2工場

建設に伴う賃貸倉庫の縮小などにより、売上高は前連結会計年度に比べ4.9%減の410百万円となり、営業利益は前連結会計年度に比べ14.0%減の191百万円となりました。

<企業集団の設備投資および資金調達の状況>

当連結会計年度の設備投資総額は5,036百万円で、主なものは当社八王子工場における「レンネット」の第2工場の建設ならびに愛知県小牧市が分譲しました小牧東部地区工業団地内における当社および株式会社エースペーカーの小牧工場の建設などであります。これらに必要な資金は、自己資金および取引銀行からの借入金により調達いたしました。

<企業集団の対処すべき課題>

当社グループを取り巻く環境は、今後も景気低迷とデフレという厳しい状況が続くものと懸念されます。また、個人消費の萎縮と人口の減少により市場が縮小するなかで、食品の品質管理や安全性への取り組みも一層強く求められております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に喜ばれ満足いただける安全・安心で高品質な商品を提供するとともに、企業の永続的な発展を図ることを最大の課題としつつ、各事業分野にわたり強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めることにより、企業価値のさらなる増大を目指します。具体的な取り組み課題は以下のとおりであります。

* 食品事業につきましては、個人消費の低迷、店頭価格の下落という厳しい環境のなか、お客様のニーズに応えられる魅力ある商品を提供すべく、ブランド力ならびにマーケティング力および商品開発力をさらに強化していくとともに、商品の品質の継続的な向上を図ってまいります。これらにより、値崩れにさらされない高付加価値商品の開発に注力するとともに、「アルファベットチョコレート」や粉末飲料の「レモンティー」、また連結子会社である株式会社エースペーカーの「厚切りバウムクーヘン」などの既存中核ブランドのさらなる強化はもとより、お客様の視点に立った商品づくりを積極的に推進してまいります。同時に、株式会社エースペーカーをはじめグループ各社の連携を一段と強めてシナジー効果を最大限に発揮して、食品事業の拡大と業績の向上を目指してまいります。また、愛知県小牧市の上記工業団地内に建設しております株式会社エースペーカーの小牧工場は、本年8月に稼働する予定であり、バウムクーヘン・焼菓子の生産拠点として、既存工場を集約し生産の効率化と生産能力の増強（現行の約2倍の見込み）を図ります。さらに、

積極的な営業活動を展開して販売シェアを拡大し、収益力のさらなる向上に努めるとともに、原材料や商品の安全性はもとより、品質管理体制を一層強化するなどの対策を講じ、お客様に安心してお買い上げいただける高品質な商品をお届けできるよう注力してまいります。

* 化成品事業につきましては、酵素部門ではチーズ用凝乳酵素「レンネット」の第2世代品「MRS」を軸として、海外各国に向けたさらなる拡売を目指してまいります。当社八王子工場内の「レンネット」第2工場が本年3月に稼働し、これにより「レンネット」の生産能力は従来の約2倍となる見込みであります。また、愛知県小牧市の上記工業団地内に建設しております当社の小牧工場は、本年6月に稼働予定であり、生産効率の向上を目指し、「レンネット」の顆粒製造設備および飼料用添加物「ヘルシーフレンド」の製造設備を移転させて工場の再編を行い、併せて「レンネット」に関しては外注しておりました包装の一部を内製化いたします。これらの新工場の稼働による生産の効率化、生産能力の増強に加え、販売シェアの拡大に努めて収益力の一層の強化を図ってまいります。同時に、脂肪分解酵素「リパーゼ」や食品リン脂質製造用酵素「ホスホリパーゼ」の多方面への用途開発と販売拡充にも注力してまいります。その他の部門では、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬である「デキストラン・マグネタイト」の技術を活かした新たな医療分野への用途拡大や、医薬品などの原料の「デキストラン」から合成したデキストラン誘導体による化粧品素材向けの商品開発なども着実に推進してまいります。さらに、「ヘルシーフレンド」の次世代品の用途拡充と販売促進にも引き続き取り組んでまいります。そのほか、環境への配慮と合わせ生産効率の向上を目指した設備の更新ならびにコストダウンの徹底なども積極的に推し進め、さらに市場競争力を高めてまいります。

今後とも時代の変化に対応し、お客様に信頼される企業として継続的に発展するよう、全社を挙げて努力する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年6月

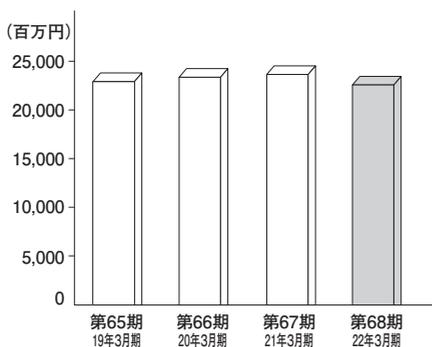
代表取締役社長 水 谷 彰 宏

連結業績の推移

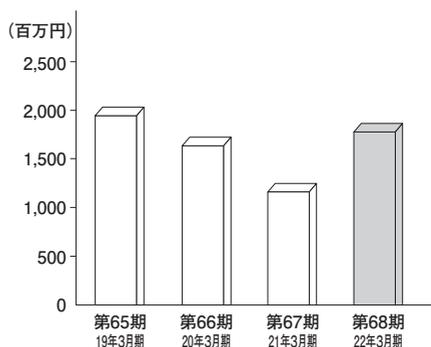
区 分	第 65 期	第 66 期	第 67 期	第68期(当期)
連結売上高(百万円)	23,001	23,404	23,683	22,605
連結経常利益(百万円)	1,944	1,635	1,160	1,777
連結当期純利益(百万円)	2,610	935	809	1,226
連結ベースの1株当たり当期純利益(円)	143.51	51.41	45.81	72.95
連結総資産(百万円)	60,844	49,733	42,336	46,619
連結純資産(百万円)	42,581	36,822	30,355	32,326

(注) 連結子会社3社
株式会社エースベーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダマス株式会社

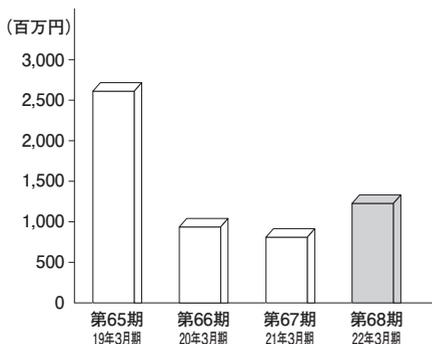
連結売上高



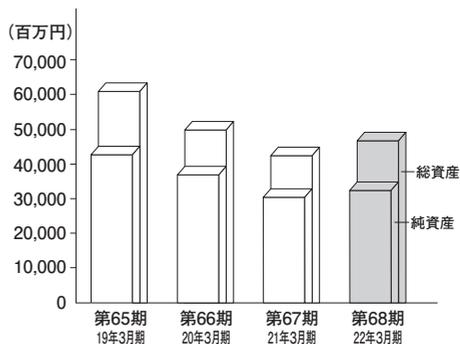
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産／連結純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成22年 3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,234	流動負債	9,312
現金及び預金	2,090	支払手形及び買掛金	2,019
受取手形及び売掛金	4,453	短期借入金	4,100
有価証券	496	未払金	794
商品及び製品	763	未払費用	1,716
仕掛品	302	未払法人税等	489
原材料及び貯蔵品	814	返品調整引当金	10
繰延税金資産	254	その他	183
その他	77	固定負債	4,980
貸倒引当金	△17	繰延税金負債	2,802
固定資産	37,384	退職給付引当金	2,057
有形固定資産	12,409	役員退職慰労引当金	13
建物及び構築物	3,696	その他	107
機械装置及び運搬具	3,679	負債合計	14,293
工具器具及び備品	81	(純資産の部)	
土地	3,109	株主資本	26,393
建設仮勘定	1,843	資本金	1,313
無形固定資産	96	資本剰余金	76
投資その他の資産	24,878	利益剰余金	33,537
投資有価証券	24,149	自己株式	△8,533
長期貸付金	56	評価・換算差額等	5,895
繰延税金資産	61	その他有価証券評価差額金	5,895
その他	679	新株予約権	37
貸倒引当金	△67	純資産合計	32,326
資産合計	46,619	負債・純資産合計	46,619

連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金	額
売 上 高		22,605
売 上 原 価		13,911
売 上 総 利 益		8,693
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		7,399
営 業 利 益		1,294
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	465	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	77	
そ の 他	61	605
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	25	
そ の 他	96	122
経 常 利 益		1,777
特 別 利 益		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	239	239
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	74	74
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		1,943
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	829	
法 人 税 等 調 整 額	△112	716
当 期 純 利 益		1,226

(注) 1株当たり当期純利益

72円95銭

連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等 その他有価証 券評価差額金	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成21年3月31日残高	1,313	76	32,647	△8,531	25,505	4,849	—	30,355
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△336		△336			△336
当期純利益			1,226		1,226			1,226
自己株式の取得				△2	△2			△2
自己株式の処分			△0	0	0			0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						1,045	37	1,083
連結会計年度中の変動額合計	—	—	890	△2	887	1,045	37	1,971
平成22年3月31日残高	1,313	76	33,537	△8,533	26,393	5,895	37	32,326

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

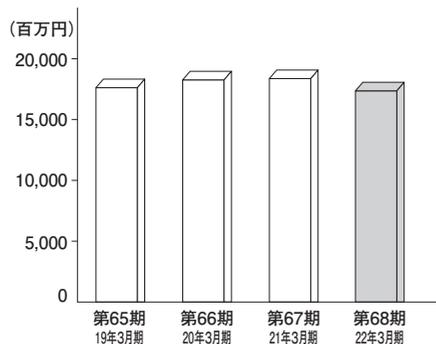
(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△469
現金及び現金同等物の期首残高	2,127
現金及び現金同等物の期末残高	1,657

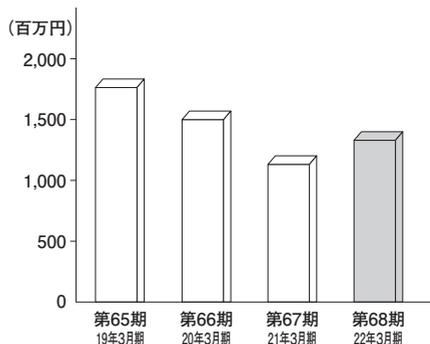
個別業績の推移

区 分	第 65 期 (平成19年 3 月期)	第 66 期 (平成20年 3 月期)	第 67 期 (平成21年 3 月期)	第68期(当期) (平成22年 3 月期)
売 上 高 (百万円)	17,591	18,227	18,332	17,327
経 常 利 益 (百万円)	1,761	1,498	1,130	1,328
当期純利益 (百万円)	2,516	890	841	936
1 株当たり当期純利益 (円)	138.32	48.93	47.60	55.70
総 資 産 (百万円)	58,885	47,784	40,353	44,263
純 資 産 (百万円)	41,698	35,901	29,480	31,177

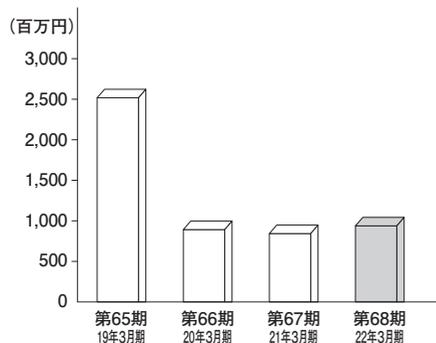
売上高



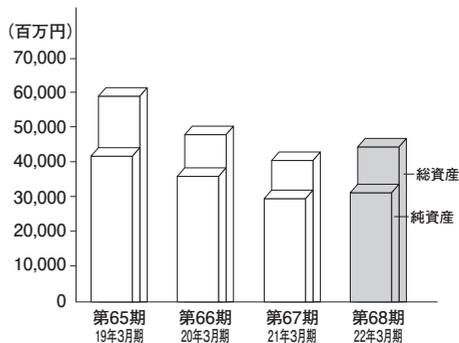
経常利益



当期純利益



総資産／純資産



個別財務諸表（要約）

個別貸借対照表

（平成22年3月31日現在）（単位：百万円）

科 目	金 額
（資産の部）	
流動資産	7,344
固定資産	36,919
有形固定資産	12,019
無形固定資産	76
投資その他の資産	24,823
資産合計	44,263
（負債の部）	
流動負債	8,207
固定負債	4,878
負債合計	13,086
（純資産の部）	
株主資本	25,220
資本金	1,313
資本剰余金	76
利益剰余金	32,364
自己株式	△8,533
評価・換算差額等	5,918
新株予約権	37
純資産合計	31,177
負債・純資産合計	44,263

個別損益計算書

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	17,327
売上原価	10,182
売上総利益	7,144
販売費及び一般管理費	6,249
営業利益	895
営業外収益	548
営業外費用	115
経常利益	1,328
特別利益	239
特別損失	74
税引前当期純利益	1,493
法人税、住民税及び事業税	649
法人税等調整額	△91
当期純利益	936

（注）1株当たり当期純利益 55円70銭

個別株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算等 差 額	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		
平成21年3月31日残高	1,313	76	31,764	△8,531	24,622	4,858	—	29,480
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△336		△336			△336
当期純利益			936		936			936
自己株式の取得				△2	△2			△2
自己株式の処分			△0	0	0			0
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)					—	1,060	37	1,098
事業年度中の変動額合計	—	—	600	△2	598	1,060	37	1,696
平成22年3月31日残高	1,313	76	32,364	△8,533	25,220	5,918	37	31,177

会社の概要 (平成22年3月31日現在)

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	357名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・八王子・福岡

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	6,892名

役員 (平成22年3月31日現在)

代表取締役社長	水谷彰宏
専務取締役	水野修
常務取締役	酒井功
取締役	半田雅晃
取締役	小島寛志
取締役	市川秀夫
取締役	齋田峰夫
常勤監査役	吉野俊彦
監査役	太田賢一
監査役	寺澤弘

- (注) 1. 取締役齋田峰夫氏は、社外取締役であります。
2. 監査役太田賢一氏および寺澤弘氏は、社外監査役であります。

おかげさまでアルファベット チョコレート発売40周年

1970年発売以来、皆様にも愛され続ける”ひとくちチョコの決定版”



おいしさ
こだわり

自社工場でカカオ豆から一貫生産。独特のカカオのkokと薫りを持ち味とした本格派のチョコレートです。

アルファベットチョコレート

株式会社 エスベーカー



レモンティー

香り高い紅茶にレモンを加えた本格派。
1杯でレモン2個分のビタミンC。



厚切りバウムクーヘン

丹念に焼き上げたバウムクーヘンを、食べやすい大きさにカットいたしました。開けてすぐ取り分けられる、便利な個包装タイプです。

株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 公告の方法

毎年4月1日から翌年3月31日まで
6月中
電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により公告
をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場証券取引所 株主名簿管理人

名古屋・東京
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならび
に日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特
別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行
株式会社にお申出下さい。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく
「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用い
ただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金
支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社商
品または当社グループ会社商品を年1回12月上旬に贈呈させて
いただいております。

- | | | | | |
|-----------|----------|-------|------|------------|
| ●100株以上 | 1,000株未満 | …………… | 小売価格 | 1,500円相当商品 |
| ●1,000株以上 | 5,000株未満 | …………… | 小売価格 | 3,000円相当商品 |
| ●5,000株以上 | …………… | …………… | 小売価格 | 5,000円相当商品 |

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>

環境に配慮し、再生紙と
植物油インキを使用して
います。

